

序章

ワークシステム・サポートプログラムの概要

序章 ワークシステム・サポートプログラムの概要

1 障害者職業総合センター職業センターにおける発達障害者に対する支援プログラムの取組

障害者職業総合センター職業センター（以下「職業センター」という。）では、知的障害を伴わない発達障害者を対象とした「ワークシステム・サポートプログラム」（以下「WSSP」という。）を実施しています。職業センターは、WSSP の実施を通して、発達障害者の職業リハビリテーションにおける支援技法の開発・改良と、その成果の伝達・普及を行っています。

WSSP は、13 週間のプログラムを通じて①障害特性と職業的課題、就労上のセールスポイントなどについて把握すること、②個々の課題への対処方法、周囲に求める配慮などについて整理すること、③職業生活を維持するために必要な技能（問題解決技能・職場対人技能・手順書作成技能・リラクゼーション技能）等の習得を図ることを目的としています。

2 WSSP の構成

WSSP は、「就労セミナー」「作業」「個別相談」から構成されています。

「就労セミナー」では問題解決技能トレーニング¹⁾、職場対人技能トレーニング²⁾、リラクゼーション技能トレーニング³⁾、手順書作成技能トレーニング⁴⁾ の4種類の技能トレーニングを通じて、職業生活を維持するために必要な技能の習得を図ります。

「作業」では、ウォーミングアップ・アセスメント期、職務適応実践支援期の2期に分けてアプローチします。

ウォーミングアップ・アセスメント期においては、シンプルに構造化した作業環境のもと、ワークサンプル幕張版⁵⁾ ※等の実施を通じて、作業遂

¹ 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 8 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 発達障害者のための問題解決技能トレーニング」（2013）p.9-13

² 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 6 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 発達障害者のための職場対人技能トレーニング（JST）」（2011）p. 8-10

³ 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 10 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 発達障害者のためのリラクゼーション技能トレーニング ストレス・疲労のセルフモニタリングと対処方法」（2014）p. 9-10

⁴ 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 15 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 発達障害者のための手順書作成技能トレーニング」（2017）p. 8-12

⁵ 障害者職業総合センター：「トータルパッケージの活用のために（増補改訂版）－ワークサンプル幕張版（MWS）とウィスコンシン・カードソーティングテスト（WCST）幕張式を中心として－」（2013）p. 4-7

行上の障害特性の現れ方を確認します。並行して、作業の進め方の工夫や環境調整などを行いながら、各受講者の障害特性に応じた対処方法を検討するための情報を収集します。

職務適応実践支援期においては、より就労場面に近い作業環境を設定し、検討した対処方法や受講者に応じた周囲の関わり方（指示の出し方など）を試し、その効果を検証します。

「個別相談」では、支援者は受講者と毎週1回、相談を実施し、プログラム内での受講者の言動や就労セミナーで得られた知識・スキルについて受講者自身がどのように捉えたかを確認し、自身の特性、困っていることや苦手なことへの対処方法、周囲から配慮を得たい事項等について整理します。

WSSP では、支援を効果的に進めるために「就労セミナー」「作業」「個別相談」の各場面を関連づけながら支援を行います(図1)。たとえば、「作業」において手順を何度も間違ふといった課題が確認された場合、「就労セミナー」の問題解決技能トレーニングにてグループ・ディスカッションを行い、手順を間違わないための対処方法を検討します。また、「個別相談」では、検討した対処方法をどのように実行するかを話し合ったり、実行した結果の振り返りなどを行っています。

※ ワークサンプル幕張版は、OA 作業、事務作業、実務作業に大別される 13 種類のワークサンプルで構成されている。職業能力の評価のほか、作業を行う上で必要となるスキルや職務遂行を可能とする環境（補完手段や補完行動、他者からの支援等を含む）を明らかにする機能や、様々な様相で現れる職業上の問題に対処できる訓練課題としての機能も果たせることなどを目的に開発された。

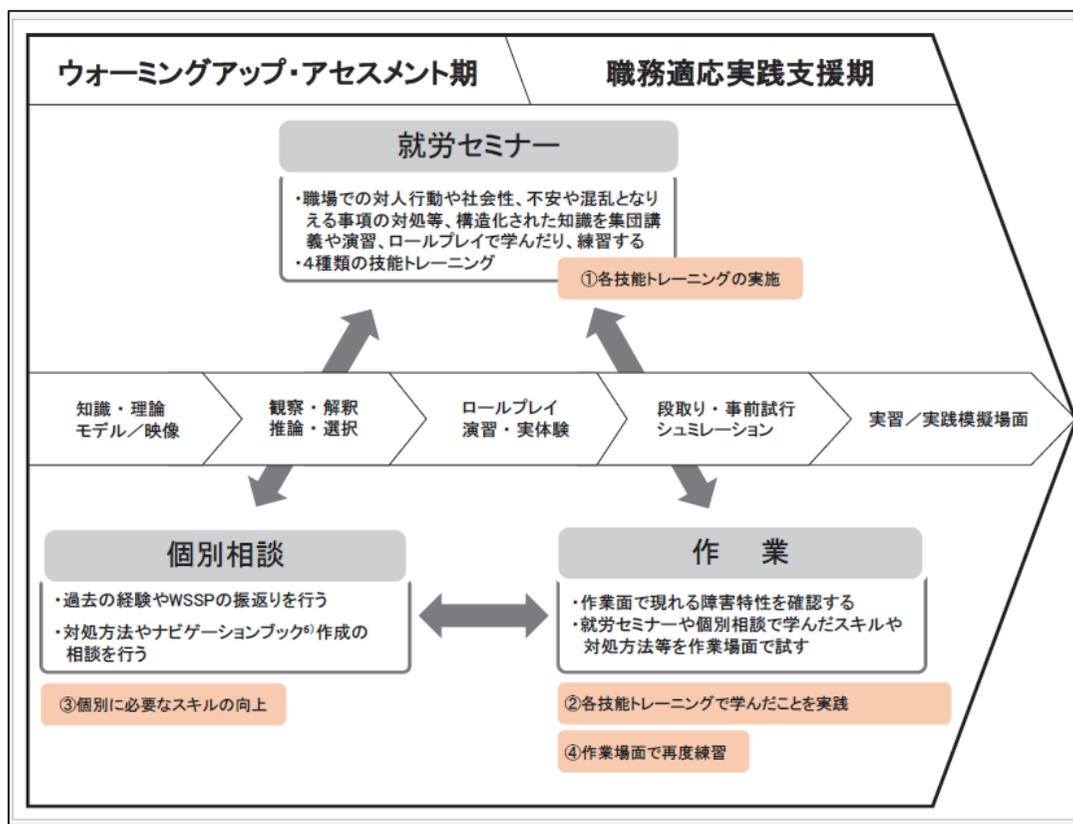


図1 「就労セミナー」「作業」「個別相談」の関連

⁶ 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No.13 発達障害者のワークシテム・サポートプログラム ナビゲーションブックの作成と活用」（2016）p. 9-13

【引用文献】

- 1) 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 8 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 発達障害者のための問題解決技能トレーニング」(2013)p. 9-13
- 2) 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 6 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 発達障害者のための職場対人技能トレーニング (JST)」(2011)p. 8-10
- 3) 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No.10 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 発達障害者のためのリラクゼーション技能トレーニング ストレス・疲労のセルフモニタリングと対処方法」(2014)p. 9-10
- 4) 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No.15 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 発達障害者のための手順書作成技能トレーニング」(2017)p. 8-12
- 5) 障害者職業総合センター：「トータルパッケージの活用のために（増補改訂版）－ワークサンプル幕張版(MWS)とウィスコンシン・カードソーティングテスト(WCST)幕張式を中心として－」(2013)p. 4-7
- 6) 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No.13 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム ナビゲーションブックの作成と活用」(2016) p. 9-13

【参考文献】

- 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 4 発達障害者のワークシステム・サポートプログラム 障害者支援マニュアルⅡ」(2009)